

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年度の実質成長率は1.0%、26年度は0.9% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、内閣府が3月10日に公表した2025年10～12月期の国内総生産(GDP)の2次速報値を織り込んだ予測によると、実質成長率は25年度が1.0%、26年度が0.9%の見通しとなった。10～12月期のGDPの2次速報値は、前期比0.3%増(年率換算で1.3%増)。

◆25年産のコメ需要見通し、昨秋から7万トン下方修正 価格高騰が影響

・農林水産省は2025年産の主食用米の需要量が691万～704万トンになるとの試算をまとめた。25年10月末時点の見通しは697万～711万トンで、最大7万トンの下方修正。価格高騰が続き、消費者のコメ離れが進んでいるとみられる。26年6月末までの1年間の需給を玄米ベースで試算。25年産の生産量は747万トンで、供給が需要を上回る見通し。

◆製紙連会長「トイレットペーパー、供給に影響なし」、生産に余力

・日本製紙連合会の野沢徹会長(日本製紙会長)は中東情勢を踏まえ「トイレットペーパーなどの在庫や生産には余力があり、供給に直ちに問題が出るという認識はない」と話した。ホルムズ海峡の事実上の封鎖などで原油の調達が難しくなっているが、トイレットペーパーなどの供給に当面影響はないと強調した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆白物家電出荷額、2月は9.7%増 補助金効果で過去最高

・日本電機工業会は2月の白物家電の国内出荷額が前年同月比9.7%増の2068億円だったと発表。エアコンや冷蔵庫が好調で、2月単月としては過去最高。東京都の省エネ家電購入補助制度「東京ゼロエミポイント」が販売促進につながった。出荷額をけん引するルームエアコンは22.1%増の675億円と6カ月連続で増加。

◆住宅ローン、変動金利平均15年ぶり1%超え 安定返済へ固定シフトも

・大手行が変動型の住宅ローンの金利を引き上げ。4月の変動金利(最優遇金利)の平均値は15年ぶりの水準になる見通し。金利上昇リスクを避けようと、毎月の返済額が変わらない固定型に借り換える動きも出始めた。三菱UFJ銀行と三井住友銀行は3月から、変動型の基準金利を0.25%引き上げて3.125%にした。

◆ペロプスカイト太陽電池、夏でも劣化せず 産総研が改良技術

・内閣府が発表した1月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる船舶・電力を除く民需(季節調整済み)は前月比で5.5%減の9824億円だった。2カ月ぶりの減少となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」で据え置いた。製造業が12.5%減の4358億円だった。2カ月ぶりの減少となった。

《 注目商品 》

■YKKAP、リフォーム防火ドアのデザインを拡充

・国土交通大臣認定防火設備のカバー工法リフォームドアをリニューアル。親扉を、現行品の9デザインから41デザインへバリエーションを拡充。ナチュラル・シック・シンプル・エレガントの4つのデザインテイストを用意し、カラーは12色をラインナップ。



■ポツシュ、「BB-pro」から2in1コードレスインパクトドライバー

・プロ基準の安全性・作業性・耐久性を満たしたハイスタンダードシリーズ「BB-pro(Bosch Basic-pro)」の新ラインナップとしてポツシュ独自の2in1コードレスインパクトドライバー「GDX 18V-285」と「GDX 18V-285H(本体のみ)」を発売。独自の2in1ビットシステムを搭載。



■コロナ、壁掛けタイプの衣類乾燥除湿機

・コロナは5月から壁掛けタイプの衣類乾燥除湿機「いつでもカラット」を発売。窓の上に設置できるコンパクトなサイズで、多様な間取りに対応。希望小売価格は10万7800円。室内の空気中の水分を屋外へ排出するタンクレス設計を採用。タンクの水捨てが不要。

